opusdei.org

23. ローマとユダヤの 情報源からはイエス について何が得られ ますか?

最も古くかつ有名なイエスの 明確な言及は1世紀終わりご ろの歴史家のフラウィウス・ ヨセフスによるものです。

2016/09/28

文献の中で最初にイエスについて言及があるのはおそらくキリスト教の文献で、1世紀後半から2世紀前半に生きたギリシャやローマの歴史家

の文献の中に見出せます、これはキリストの出来事からかなり近い時期です。

最も古くかつ有名なイエスの明確な 言及は1世紀終わりごろの歴史家の フラウィウス・ヨセフス(『ユダヤ 古代誌』XVIII, 63-64)によるもの で、これはまた「フラウィウス証 言」として知られています。全てギ

リシャ語の手書きで残っているヨセ フスの著作はイエスがメシアではな いかと暗示しています。このことに より、多くの作者はこの著作は中世 の複写家によって加筆されたとの見 解をとっています。今日、学者たち はヨセフスの原文は10世紀にヒエ ラポリスの司教のアガペが引用して いるアラビア語で残っているものに より近いのではないかと考えてお り、そこには加筆したと思われると ころがありません。それは次のよう に語っています「その頃、イエスと いう賢明な人が善徳を行い高潔さで 知られていました。イエスには弟子 として多くのユダヤ人とその他の市 民がいました。かれはピラトにより 十字架上の磔刑に処されて死にまし た。しかしながら、その弟子たちは イエスの死後も弟子であることをや めず、イエスは十字架につるされて 3日後に現われて生きており、イエ スは預言者たちが素晴らしいことを

話していたそのメシアに違いない」 と語っています。

2世紀のローマの著者たちの作品の中で(小プリニウスの『書簡集』X,96、タチツスの『年代記』XV,44スエトニウス『クラウディウスの生涯』25,4)イエスの人物およびその追随者についていくつかの言及がなされています。

ユダヤの情報源からは、特にタル ムードのなかで、イエスおよびイエ スについて語っているある種の事柄 について種々の言及があります。こ のある種の事柄はキリスト教徒によ る操作の疑いのない情報源から歴史 的詳細に実証可能なものです。ユダ ヤの学者の一人であるジョセフ・ク ラウスナーはイエスに関してタル ムードが述べるところから導き出せ る結論を次のように要約していま す。「信頼できる言述によると彼の 名前はナザレのヨシュアで、"魔術を 行い"(すなわち、当時はやりの奇跡 を起こし)、人々を扇動しそして悪 路をイスラエルに導きました。律法 学者の言葉を愚弄しファリサイ派の 律法書に対し同様の見解を述べまし た。5人の弟子を連れており、律法 を廃止したりそれに付け加えたりす るために来たのではないと語りまし た。そして過越祭の前夜に偽りの指 導者で扇動者として十字架につるさ
 れました(土曜日に下ろされまし た)。彼の弟子たちは彼の名のもと に病人の治療にあたりました」。 〈『ナザレのイエス』44頁〉つまる ところ、歴史的な視点に立つと正確 さが要求されようが、これで全てで はないが少なくもない、これらの情 報源から推定できることは十分に明 示的であるということです。これら の情報をローマの著者のものと対比 させると、イエスが存在してその生 涯に関する重要な情報が含まれてい ることを歴史的な確かさで確認する ことが可能です。

参考書: Joseph KLAUSNER, Jesús de Nazaret. Su vida, su época, sus enseñanzas (, Barcelona 1989); Romano PENNA, Ambiente histórico cultural de los orígenes del cristianismo (, Bilbao 1994); Robert E. VAN VOORST, Gesù nelle fonti extrabibliche. Le antiche testimonianze sul Maestro di Galilea (San Paolo, Cinisello Balsamo 2004); Francisco VARO, Rabí Jesús de Nazaret (B.A.C., Madrid, 2005) 99-127.

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/iesu-shitsumon-23/ (2025/11/21)